

アマチュアスポーツで優れた成績を挙げた本県選手を表彰する。第36回新潟日報スポーツ賞は、競技団体の方々による選考委員会の結果、スポーツ賞に3チーム・選手団と7選手、特別賞に1チームの計11件が決まりました。

11件に決定

国民体育大会、日本選手権、全国高校総合体育大会、全国中学校体育大会の優勝者、チーム・選手団が選ばれました。表彰式は19日、新潟日報本社で行います。(受賞者、チーム・団体の紹介は26面に)

夢舞台で輝く栄冠

日報スポーツ賞・特別賞に4団体と7選手

第36回新潟日報スポーツ賞が決定した。本年度(2011年12月～12年11月)は、県内の競技団体などから22件の推薦があった。スポーツ賞には、国体冬季大会スキー競技会で男女総合優勝を果たした本県選手団、水球の日本選手権で優勝した男子のフルボンウォーターポロクラブ柏崎(フルボンKZ)など、スキー、相撲、自転車、陸上、クレイ射撃、水泳、登山の各競技から3チーム・選手団と7選手の計10件が選ばれた。全国中学校体育大会剣道女子団体で3連覇を飾った燕中は、特別賞を受賞した。スポーツ大賞、功績賞は該当者・団体がなかった。栄冠を手にした場面や横顔を紹介する(所属は大会当時。文中敬称略)。表彰式は19日、新潟市西区の新潟日報本社で行う。

全国中学校体育大会・剣道女子団体優勝

燕中学校

特別賞



3年連続5回目の全国制覇を遂げた燕中チーム

チーム成長3連覇

昨年の全中を制したメンバーが4人残り、期待と重圧がかかる中、3連覇を果たした。主将で主力の村山ひなこが、けがで長期離脱したことが選手の意識を変えた。準々決勝、準決勝ともに3-0で

勝ち、決勝も4-1で快勝した。8強以降は先鋒からの3人が全試合負けなし。村山頼りだったチームは、総合力の高いチームに成長した。村山は「最後まで全員でまとまって戦えた」と笑顔を見せた。